

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 修士課程

1. 修士（薬科学）の学位を得ようとする者は、修士課程に2年以上在学して研究指導を受け、必修科目16単位、選択科目14単位、計30単位以上（別表1）を学修し、かつ修士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。
2. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
3. 講義はすべて選択で、学生は希望する講義を受講することができる。ただし、概論2科目4単位、実験技術1科目2単位、研究特論4科目8単位以上を履修しなければならない。  
なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、3科目6単位以内は修士課程修了に必要な研究特論の単位数のなかに含めて認定することができる。
4. 基礎演習及び実験、実習は研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
5. 基礎演習は通年2単位、実験は通年4単位及び実習は通年1単位とする。
6. 特別演習は、必修とし、半期各年1単位、計2単位を修得しなければならない。
7. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科修士課程修得単位数表

科 目		必修科目	選択科目	計
講義	導入教育	概論 (専攻横断型科目及び 自専攻科目)	4	14
		実験技術	2	
	研究特論		8	
基礎演習		4		4
実験		8		8
実習		2		2
特別演習		2		2
計		16	14	30

## 2026年度 薬学研究科修士課程科目配当表

(薬科学専攻)

区 分	ナンバリング コード	科 目 名	単 位	開 講 年 度				備 考		
				2026年度		(2027年度)				
				前	後	前	後			
講義	導入教育	概論	GPHA0051026LJ86	創薬有機化学概論	2	集中		集中		2科目履修
			GPHA0051028LJ86	創薬医療薬科学概論	2	集中		集中		
			GPHA0051027LJ86	創薬生命科学概論	2	集中		集中		
			GPHA0151217LJ86	創薬物理化学概論	2	集中		集中		
	実験技術	GPHA0151205LJ86	基盤有機化学実験技術	2	集中		集中		1科目履修	
		GPHA0151206LJ86	基盤物理化学実験技術	2	集中		集中			
		GPHA0151207LJ86	基盤生物化学実験技術	2	集中		集中			
		GPHA0151208LJ86	基盤医療薬科学実験技術	2	集中		集中			
	研究特論	GPHA0161209LJ86	基盤有機化学特論 I	2					2	4科目履修
		GPHA0161210LJ86	基盤有機化学特論 II	2		2				
		GPHA0161211LJ86	基盤物理化学特論 I	2	2					
		GPHA0161212LJ86	基盤物理化学特論 II	2			2			
		GPHA0161213LJ86	基盤生物化学特論 I	2					2	
		GPHA0161214LJ86	基盤生物化学特論 II	2		2				
GPHA0161215LJ86		基盤医療薬科学特論 I	2		2					
GPHA0161216LJ86		基盤医療薬科学特論 II	2		2					
GPHA0061218LJ86	実践創薬科学開発特論	2		集中			集中			
演習	基礎演習	GPHA0172301SJ86	基盤薬品創製化学演習	2	2		2		研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする	
		GPHA0172302SJ86	基盤薬品機能統御学演習	2	2		2			
		GPHA0172309SJ86	基盤精密有機合成化学演習	2	2		2			
		GPHA0172304SJ86	基盤生体分子薬学演習	2	2		2			
		GPHA0172305SJ86	基盤生体機能薬学演習	2	2		2			
		GPHA0172310SJ86	基盤生体機能化学演習	2	2		2			
		GPHA0172307SJ86	基盤薬品動態医療薬学演習	2	2		2			
		GPHA0172308SJ86	基盤病態機能解析学演習	2	2		2			
		GPHA0172313SJ86	基盤医療薬剤学演習	2	2		2			
	GPHA0172315SJ86	実践創薬科学演習	2	2		2				
GPHA0172316SJ86	基盤創薬医薬科学演習	2	2		2					
特別演習	GPHA0172314SJ86	基盤薬科学特別演習	2		集中		集中	必修		
実験	GPHA0173201EJ86	基盤薬品創製化学実験	4						研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする	
	GPHA0173202EJ86	基盤薬品機能統御学実験	4							
	GPHA0173209EJ86	基盤精密有機合成化学実験	4							
	GPHA0173204EJ86	基盤生体分子薬学実験	4							
	GPHA0173205EJ86	基盤生体機能薬学実験	4							
	GPHA0173210EJ86	基盤生体機能化学実験	4							
	GPHA0173207EJ86	基盤薬品動態医療薬学実験	4							
	GPHA0173208EJ86	基盤病態機能解析学実験	4							
	GPHA0173213EJ86	基盤医療薬剤学実験	4							
	GPHA0173214EJ86	実践創薬科学実験	4							
GPHA0173213PJ86	基盤創薬医薬科学実験	4								
実習	GPHA0174201PJ86	基盤薬品創製化学実習	1						所属する講座が開講するものを必修とする	
	GPHA0174202PJ86	基盤薬品機能統御学実習	1							
	GPHA0174209PJ86	基盤精密有機合成化学実習	1							
	GPHA0174204PJ86	基盤生体分子薬学実習	1							
	GPHA0174205PJ86	基盤生体機能薬学実習	1							
	GPHA0174210PJ86	基盤生体機能化学実習	1							
	GPHA0174207PJ86	基盤薬品動態医療薬学実習	1							
	GPHA0174208PJ86	基盤病態機能解析学実習	1							
	GPHA0174211PJ86	基盤医療薬剤学実習	1							
	GPHA0174212PJ86	実践創薬科学実習	1							
GPHA0174213PJ86	基盤創薬医薬科学実習	1								

※開講年度欄の「集中」は集中講義、数字は毎週平均の授業時数を表す

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 博士後期課程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、博士後期課程に3年以上在学して研究指導を受け、演習4単位以上及び特論2単位以上を学修し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。  
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を2年に短縮して学位を得ることができる。
2. 演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものと見なす。
3. 演習は研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
4. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

## 科目配当表（博士後期課程）

演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものとみなす。在学期間中に6単位（演習4単位、特論2単位）以上を履修する。

先端薬科学研究演習Ⅰ（通年、必修） GPHA0179011SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学研究演習Ⅱ（通年、必修） GPHA0179012SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学特論（前期・後期、必修） GPHA0169013LJ86 薬科学専攻教員他

# 大学院薬学研究科（薬科学専攻）カリキュラムマップ

広い視野と教養、高度な基礎科学、薬科学の体系的・先端的知識と技能を備え、その活用力を身につけている

薬科学の深い学識に基づき、自由な発想力を創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる

科学・技術・社会的課題に複雑の解決策を提示でき、将来の課題にも柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している

高い倫理性をもって薬科学の発展に寄与する行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる

薬科学に関する研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している

※ 修士後期課程にあっては、原則として3年以上在学して研究指導を受け、授業科目6単位以上を修得して独自の研究成果を学術論文に発表し、これらに基づく博士論文を提出して所定の試験に合格することが必要とされる

D3

## 博士論文研究

創薬科学の発展に貢献する専門的で独創的な研究を立案、計画、実践し、学術論文や学会発表を通じて社会に成果を発表し還元する

D2

### 博士論文作成

当該分野における学術的意義、新規性と創造性、研究によってもたらされた知見の科学的検証または証明の妥当性などを有する博士論文をとりまとめて発表する権威ある学術雑誌に査読付き原稿を投稿できる段階まで研究を進めることが求められる

D1

### 特論

創薬分野における最先端の研究内容を履修し、幅広い視点と素養を習得する  
先端薬科学特論

### 演習

プレゼンテーション、論理的思考、問題解決能力を身につける  
先端薬科学研究演習II  
先端薬科学研究演習I

### 研究

創薬科学研究に必要な応用基礎の確立を目指す  
専門分野において研究指導をうける

### 研究発表

研究成果を発信し還元する力をつける  
学術論文発表  
国内/国際学会発表

## 自己開発プログラム

自らの職業人生を主体的に構想・設計し、国際社会で活躍できる能力を身につける

短期留学プログラム

国際交流シンポジウム

キャリア形成談話会

薬科学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の薬科学研究を理解することができる

薬科学における個々の専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができています

科学・技術の課題に解決策を提示でき、また、将来の課題にも解決策を構想できる

高い倫理性をもって、薬科学の発展に寄与することをめざした行動ができる

薬科学に関して、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる

※ 修士課程にあっては、2年以上在学して研究指導を受け、授業科目30単位以上を修得して修士論文を提出し、所定の試験に合格することが必要とされる

M2

## 修士論文研究

創薬科学に関する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力を身につける

### 修士論文作成

当該分野における学術的意義、新規性、創造性を有する修士論文をとりまとめて発表する

### 研究特論

創薬分野における専門知識や理論を身につける  
基盤有機化学特論 I  
基盤有機化学特論 II  
基盤物理化学特論 I  
基盤物理化学特論 II  
実践医薬品開発特論

### 演習

プレゼンテーション、論理的思考、問題解決能力を身につける  
基盤薬品創製化学演習  
基盤精密有機合成化学演習  
基盤生体機能薬学演習  
基盤生体機能薬学演習  
基盤薬品動態医療薬学演習  
基盤医療薬理学演習  
基盤創薬医薬科学演習

### 実験

研究立案・遂行・問題解決能力を身につける  
基盤薬品創製化学実験  
基盤精密有機合成化学実験  
基盤生体機能薬学実験  
基盤生体機能薬学実験  
基盤薬品動態医療薬学実験  
基盤医療薬理学実験  
基盤創薬医薬科学実験

### 実習

学習計画の立案能力や指導法を身につける  
基盤薬品創製化学実習  
基盤精密有機合成化学実習  
基盤生体機能薬学実習  
基盤生体機能薬学実習  
基盤薬品動態医療薬学実習  
基盤医療薬理学実習  
基盤創薬医薬科学実習

M1

## 導入教育

創薬研究に関連する分野の現状を把握し、研究遂行に必要な基本的知識を身につける

基盤有機化学概論  
基盤有機化学実験技術

基盤物理化学概論  
基盤物理化学実験技術

基盤生物化学概論  
基盤生物化学実験技術

基盤医療薬科学概論  
基盤医療薬科学実験技術

自然科学、生命科学、医療薬学に関する基本的な知識と技能